

# 令和4年度 事業報告

## 1. 概況

現在、我が国では、人口が減少するとともに少子高齢化が進み、令和4年9月に総務省統計局から発表された「統計からみた我が国の高齢者」によれば、総人口に占める65歳以上の割合は29.1%で、前年（28.9%）に比べ0.2ポイント上昇し、過去最高となりました。

こうした状況の中で、高齢者の就労意欲は高く、内閣府の調査によると、働いている60歳以上の人の8割以上が、70歳以上まで働きたいと考えています。

今後、労働力人口の減少が懸念される中、働く意欲のある高齢者が、その知識や経験を活かし活躍し続ける「生涯現役社会」を実現するには、働きたいと願う高齢者が働き続けられる環境づくりが重要であり、その受け皿であるシルバー人材センターに対する地域社会の期待は一層大きなものになっております。

当センターは昭和57年、県下7番目のセンターとして設立し、公益社団法人へ移行して11年が経過しております。その間、企業の定年延長や再雇用制度の定着、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、センターを取り巻く環境は大きく変化しており、会員の高齢化や会員数の伸び悩みなど、公益法人としての組織運営において、様々な課題が山積しています。

そこで、令和4年度は、令和2年度に策定した「市原市シルバー人材センター中期計画」に基づき、会員及び職員が一丸となって「会員の拡大」や「就業機会の確保」、「安全・適正就業の推進」などに、積極的に取り組みました。

その結果、契約額は、派遣事業は前年比1,785千円の減となりましたが、請負・委任事業については、企業・事業所等からの受注が増加したことなどから、前年比10,636千円と大幅増になりました。

また、会員数については、新たな取組みとして、入会促進キャンペーン期間（10月～12月）を設け「お出かけ入会説明会」及び「1人1会員入会促進事業」を実施したところ、会員数は566人と、前年度比19人増とすることができました。

その他、令和4年度は、昨今の物価上昇等を踏まえ、植木剪定や除草、襖・障子張替えなどの料金を改定するため「料金検討委員会」を設置し、近隣シルバー人材センターの状況などを参考に見直しました。また、多発する除草作業での刈払機による事故を防止するため、除草班全体会議を開催し意見交換を行うとともに、そこで出た意見等を「除草班員就業マニュアル」に盛り込むなどの安全対策にも取り組みました。

令和4年度は、長期にわたる新型コロナウイルス感染症等の影響などもあり、センター運営は大変厳しい状況にありましたが、市原市をはじめとする行政機関、企業、事業所、そして一般の皆様からの大きな支援をいただきながら、会員の皆様のご尽力により、センター事業の推進と地域社会への貢献につながる事業展開が図れたものと確信しております。

以下、具体的な事業の実施状況についてご報告いたします。

## 2. 事業実施状況

### (1) はつらつと共に働く仲間づくり（会員の確保・拡大）

令和4年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新規会員の拡大は大変厳しい状況にありましたが、会員及び職員が一体となって、様々な取組みを展開したところ、会員数は566人と前年度と比べ19人増加することができました。しかしながら、その内女性会員は108人であり、会員数に対する割合は19%とまだまだ低い状況にあります。また、当センターの粗入会率（60歳以上人口に対する会員数）は0.6%と千葉県全体及び近隣自治体と比べても低い状況にあります。

#### ① 会員の拡大

- 入会案内のチラシ等を公共施設や商業施設などに配置するとともに、職群班では7月、11月、2月に合計4,200部を戸別にポスティングを行いました。
- 「広報いちほら（2月1日号）」に当センターの特集記事を掲載していただくとともに、ホームページの適宜更新や各種メディア（市役所総合インフォメーション、地域新聞、市労連会報誌等）の活用により多角的な広報を展開しました。
- 新たに、入会促進キャンペーン期間（10月～12月）を設け、センターでの定期的な入会説明会に加え、南総公民館、及びちはら台コミュニティセンターにおいて「お出かけ入会説明」を開催するとともに、会員による口コミによる勧誘を促進するため、「1人1会員入会促進事業」を実施し、合わせて19人の新規会員の入会に結びました。
- 「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間（10月）」に、当センター駐車場において会員による「刃物研ぎ」の実演を行うとともに、入会相談コーナーを設置し、入会拡大と受注促進に取り組みました。

#### ② 退会者の縮減

- 会員が希望する仕事に就けるよう、様々な業種の企業や事業所等に対し、就業開拓専門員が積極的に営業活動を展開し、新規契約につなげました。
- 会員からの相談に適宜対応するとともに、「会報 シルバーいちほら」の「営業だより」やホームページの充実に取り組み、就業に係る情報発信の強化に努めました。
- 長期未就業会員に対しては、就業開拓専門員が現状確認や就業の希望等を伺うなどのフォローアップに努め、就業促進につなげました。
- 新規会員のスキルアップや後継者の育成を推進するため、講習会や研修会を実施しました。（講習会等の内容：（3）－③就業スキル向上の推進を参照）

#### ③ 女性会員の拡大

- 「女性部会」を10月に開催し、女性会員と就業の拡大について意見交換するとともに、11月には「太巻き寿司講習会」を実施し、女性会員相互の親睦と情報交換を図りました。
- 全シ協が作成した女性活躍事例集「輝き続けるシルボヌたち」に千葉

県を代表して当センターの女性会員が紹介されました。

#### ④ 仲間づくりや交流の場の創出

- ホームページや「会報 シルバーいちほら（9月, 3月）」に講習会や研修会等の様子を適宜掲載するとともに、会報を全会員に送付することで、情報の共有・見える化に取り組みました。

### (2) 笑顔がうれしい仕事づくり（就業機会の拡大・提供の推進）

令和4年度は、会員、職員が一丸となって様々な営業活動等に取り組み、派遣事業は、受注件数が17件、契約金額が15,152千円と前年度比1,785千円の減でありましたが、請負・委任業務については、受注件数が3,576件、契約金額が317,427千円で前年度比10,636千円と大幅に増加することができました。

#### ① 新規就業の開拓・提供

- 更なる就業拡大を図るため、就業開拓専門員が中心となり、市内各企業や事務所等に積極的に営業活動を展開し、49件の新規契約に結びました。また、ゴルフ場や駐輪場、大型スーパー等の欠員の補充について丁寧に対応し、顧客からの要望に応えました。
- ポスターやリーフレット等を公共施設や大型商業施設などに配置するとともに、職群班（7月, 11月, 2月）においては戸別にポスティングを行い、新たな会員・顧客の拡大に取り組みました。

#### ② 地域貢献事業の推進

- 福祉・子育て・家事支援サービスに関する就業拡大を図るため、市原市社会福祉協議会と情報交換を図りました。
- 空き家や空き地の管理に関する就業拡大を図るため、除草や植木剪定の受注と連動させ、家屋等の管理について営業するなど、受注拡大に取り組みました。
- センターの存在意義や価値が高まるよう、また、地域に親しまれ身近な場所となるよう、以下の地域貢献活動を実施しました。
  - ・令和4年7月14日  
襖班会員による、障子・網戸の張替え講習会（参加者：9名）
  - ・令和4年10月28日  
植木班会員による、刃物研ぎ（依頼数：18件48丁）
  - ・令和5年2月16・17日  
襖班会員による、襖の張替え講習会（参加者：16名）
  - ・令和5年3月28日  
植木班及び除草班会員による、植木の剪定・除草ボランティア（市立 南総中学校）（参加者：24名）
  - ・役職員及び会員有志によるペットボトルキャップの収集及び資源ごみの回収分別

### (3) 安全・健康、生きがいを感じる職場づくり

#### (安全・適正就業、就業スキルの向上)

令和4年度は、会員の安心・安全な就業環境づくりや事故を防止するため、様々な安全講習会等の開催や安全パトロールを実施するとともに、「職群班員就業マニュアル」や「作業要領」等を見直しました。その結果、事故発生件数は15件で前年度比3件減と減少傾向にあり、その内訳としては、傷害事故が6件（前年度比1件減）、賠償事故が8件（前年度比1件減）、交通事故が1件（前年度比1件減）でした。

#### ①安全・安心就業の徹底

- 令和4年7月、11月、及び令和5年2月に「安全・適正就業委員会」を開催し、事故発生状況の共有と再発防止等について意見交換を行いました。
- 安全就業及び事故防止の徹底を図るため、委員会役員が中心となって就業先への特別安全パトロールを2回（7月、12月）、安全推進委員による安全パトロールを6回（隔月）実施しました。
- 除草作業での刈払機による事故防止を推進するため、除草班部会及び全体会議を開催し意見交換を行いました。また、そこでの意見等を「除草班員就業マニュアル」に盛り込み、除草班全員に配布し注意喚起を図りました。
- 毎年7月に全国展開される「安全・適正就業強化月間」に、安全意識の向上を図るため、桃太郎旗等を事務所前に掲示しました。
- 安全用具の着用励行を推進するため、落下防止用ベルト（10個）、防護ネット（2個）、安全ベスト（20着）を購入しました。
- 就業中の事故や途上における交通事故を防止するため、以下の講習会等を実施しました。
  - ・令和4年6月28日  
第1回草刈機安全講習会（一般）参加者：14名
  - ・令和4年7月25日  
第2回草刈機安全講習会（資格取得）参加者：5名
  - ・令和4年8月2日  
第1回交通安全講習会（高齢者の交通安全）参加者：12名
  - ・令和4年12月7日  
第2回交通安全講習会（高齢者の交通安全）参加者：22名
  - ・令和5年2月1日  
普通救命（AED）講習会 参加者：10名
  - ・令和5年2月22日～24日  
チェーンソー安全講習会（講義・実技）参加者：4名
  - ・入会説明会における安全教育、及び「シルバー保険」の説明等の実施（毎月1回、お出かけ入会説明会2回：合計14回）

#### ②適正就業の徹底

- 「請負・委任」「派遣」の適正な就業及び契約を推進するため、新規契約については、受注時に就業内容を十分確認するとともに、既契約については、パトロールや営業活動を通して仕様書との適合を確認するよう努めました。

### ③就業スキル向上の推進

- 就業に関する知識や技術、マナーなど、会員のスキルアップを促進するため、以下の講習会や研修会を実施しました。
  - ・令和4年12月16日  
待遇力向上講習会（講義）参加者：16名
  - ・令和5年3月28日  
植木剪定講習会（市立南総中学校）（講義・実技）参加者：16名
  - ・その他、安全に係る講習会等は「①安心・安全就業の徹底を参照」
- 空き家及び空き地の管理において、空き家班の会員が作業の内容や範囲、注意事項等について共通認識の下で就業するための「空き家班員就業マニュアル」を策定し、会員に周知しました。
- 令和5年4月1日の料金改定に伴い、植木班及び除草班、襖班の会員が新材料金で見積り積算ができるよう、「班員就業マニュアル」を見直しました。
- イトーヨーカドー市原店のカート整理作業における作業内容やマナー、注意事項等をまとめた「作業要領」の見直しを図りました。

### （4）取組みを推進する体制づくり（運営体制の強化・充実）

令和4年度は、理事会、専門部会、専門委員会等での積極的な活動による自主的運営に取り組みました。特に昨今の急激な物価高騰などを背景に、令和5年4月1日から植木剪定、除草等の料金改定を行うに当たり「料金検討委員会」が中心となって改定することが出来ました。また、財政運営の健全化においては、積極的な要望活動を展開しました。

#### ①運営組織体制の強化

- 毎月開催する理事会をはじめ、専門部会や専門委員会等での活発な活動により、自主的運営に取り組みました。
- 令和4年7月、11月、及び令和5年2月に「職群班世話人会議」を開催し、情報の共有や意見交換等を行うとともに、様々な課題解決に向け、適宜部会等を開催することで、会員の働きやすい環境づくりに取り組みました。
- 意識や知識の向上を図るため、全シ協や千シ連が主催する各種講習会等に積極的に参加しました。

#### ②財政運営の健全化

- 自主財源を確保するため、就業開拓専門員が中心となって積極的に営業活動を展開し、契約額が前年度比で3.5%増加しました。また、賛助会員の継続・新規勧誘の推進にあたっては、文書により支援を働きかけ、市原商工会議所をはじめ9件のご協力を得ることができました。
- 市原市からの補助金を確保するため、市原市長はじめ副市長、保健福祉部等へ積極的に要望活動を展開し、大変厳しい財政状況にあっても、令和5年度は令和4年度と同額の補助金を確保することができました。
- 昨今の物価や賃金の上昇を受け、植木剪定や除草等の料金を見直し、料金・配分金の適正化を図りました。
- 納入期限までに料金が入金されていない顧客に対しては「未収金管理事務要領」に基づき、粘り強く債権回収に取り組みました。

○会員会費の未収金対策として、適正かつ確実に回収するため「未集金会費管理マニュアル」を策定し、事務処理の明確化を図りました。

### ③行政や関係団体等との連携強化

- 全シ協や県シ連から随時情報収集が出来る関係を築くとともに、南房総地域グループ協議会においては、様々な課題等について意見交換を行うことで、センター運営に役立てました。
- 行政や市原市社会福祉協議会と福祉や子育て、生活援助サービス分野の就業拡大に向けて情報交換を行い、連携強化に取り組みました。

## (5) その他の取組み（センターの目的を達成するために必要な事業）

### ①新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症は、未だ収束していませんが、政府ではウィズコロナの新たな段階への移行が進められており、センターでは、基本的な感染症対策を励行しながら、段階的に営業活動や講習会、研修会の開催等を進めてきました。今後も引き続き感染状況を注視しながら、会員の安全を第一に考え事業運営に取り組んでまいります。

### ②適格請求書等保存方式（インボイス制度）への対応

令和5年10月から施行される、インボイス制度の対応については、理事会等で意見をいただきながら検討した結果、全シ協及び千シ連の原則的な方針に基づき、新たな経費負担に伴う財源は「料金（請負代金等）の値上げ」で捻出し、当センターにおいては「事務費率の引上げ」で対応することとしました。しかしながら、令和5年度については、経過措置期間（仕入税額相当額の80%まで仕入税額控除可）であることから、新たな経費負担は当該年度収益から捻出することとし、事務費率の引上げは行わないこととしました。

なお、事務費率の引上げ時期については、令和6年度以後、各年度の収支決算状況等を踏まえ慎重に判断することとします。

### ③市原市シルバー人材センター中期計画の推進

令和4年9月2日に「市原市シルバー人材センター中期計画推進委員会」を開催し、令和3年度末での計画の進捗状況や成果について評価・検証を行い、中期計画で定めた「目指すセンター像」の実現に向け取り組みました。